



デジタルアーカイブの標準規格 IIIFの紹介

島根大学附属図書館
企画・整備グループリーダー

青柳 和仁

本日の発表内容

DA

デジタルアーカイブとは？

従来のデジタルアーカイブの問題点

IIIF

みんなが嬉しい！？IIIF対応

そもそも、IIIFとは？

IIIF対応の必須条件

IIIF対応の事例

License

根強く残る問題 ～ライセンス～

島大図ではどうしたか？

本日の発表内容

DA

デジタルアーカイブとは？

従来のデジタルアーカイブの問題点

IIIF

みんなが嬉しい！？IIIF対応

そもそも、IIIFとは？

IIIF対応の必須条件

IIIF対応の事例

License

根強く残る問題 ～ライセンス～

島大図ではどうしたか？

デジタルアーカイブとは？

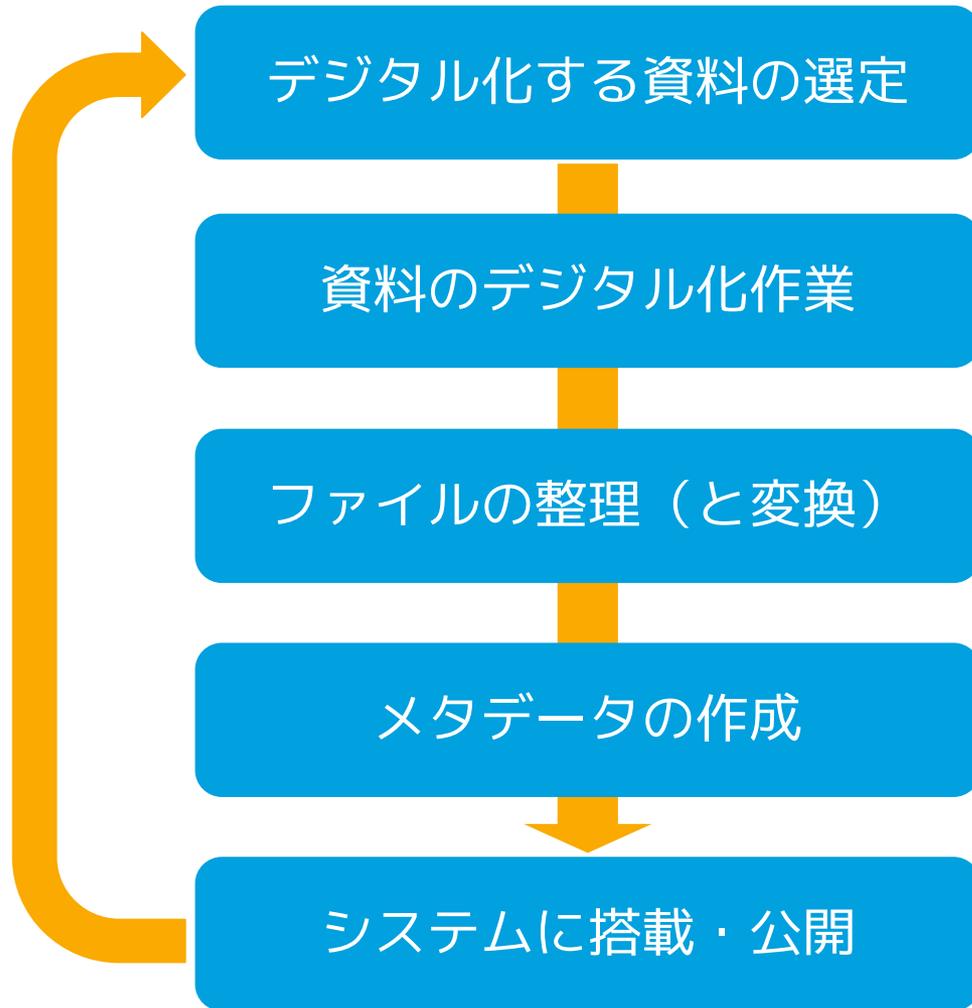
デジタル
アーカイブ  資料をデジタル的に保存・
公開し、どこからでも閲覧
できるようにしたもの

デジタルアーカイブの役割

- 資料の複製作成
- 原本の劣化防止
- より多くの人へ資料を提供する

デジタルアーカイブとは？

よくわかる！？デジタルアーカイブの運用



デジタルアーカイブとは？

よくわかる！？デジタルアーカイブの運用

デジタル化する資料の選定

資料のデジタル化作業

ファイルの整理（と変換）

メタデータの作成

システムに搭載・公開

どの資料を、
どういう順番で、
どうやって、
いつまでに、
デジタル化するか？
を計画する。

- コマ数（≒ページ数）
 - コスト（時間や金額）
- の見積もりも行って計画の遂行が可能かどうかを判断。
見積もりを元にして、予算を取ったり、場合によっては運営会議で計画を承認してもらう。

デジタルアーカイブとは？

よくわかる！？デジタルアーカイブの運用

デジタル化する資料の選定

資料のデジタル化作業

ファイルの整理（と変換）

メタデータの作成

システムに搭載・公開

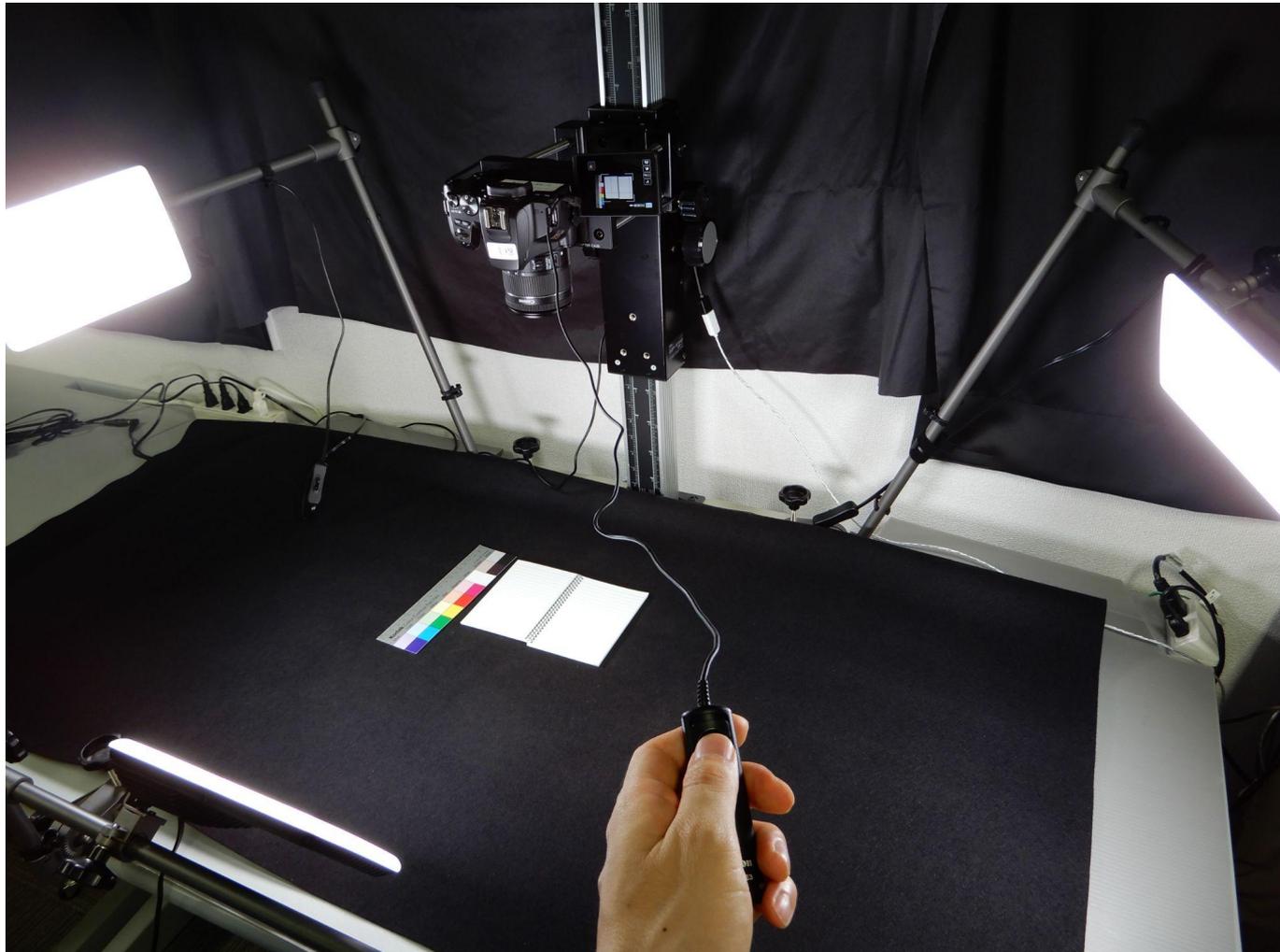
業者に依頼する場合は、仕様を決めて調達手続きを行って契約し、期限までに納品してもらう。

職員やアルバイトで内製でデジタル化することも可能。
（要 撮影機材・環境）

島大図では主に、学生アルバイトにデジタル化作業をしてもらい、作業時間に応じて給与を支払っている（予算は全学のもの）

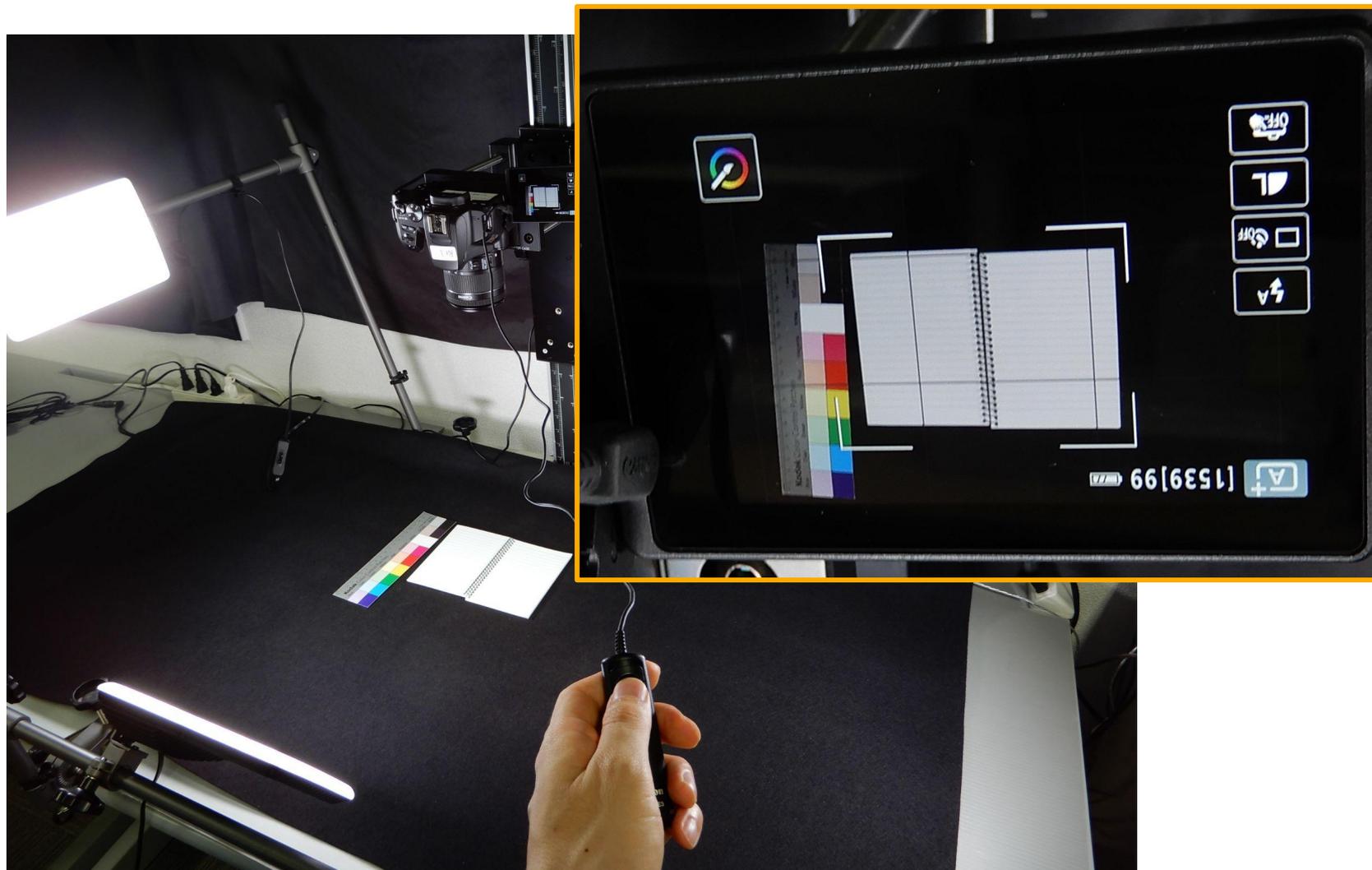
デジタルアーカイブとは？

実際の内製作業場の風景



デジタルアーカイブとは？

実際の内製作業場の風景



デジタルアーカイブとは？

よくわかる！？デジタルアーカイブの運用

デジタル化する資料の選定

資料のデジタル化作業

ファイルの整理（と変換）

メタデータの作成

システムに搭載・公開

資料番号のフォルダに画像ファイルを入れて管理するのが一番良くて、余計な中間フォルダは作らないのが吉。資料名のフォルダとか作っちゃうのは凶。

管理台帳をExcel等で別途作成しておいてセットで管理する。画像を探す時は、資料のDB（図書館ではOPAC）で検索するか、この管理台帳で探せば、画像が大量になってもすぐに探せるようになる。

ここがある意味で一番重要な工程で、ちゃんと整理しないと、後で地獄を見るゾ☆

デジタルアーカイブとは？

よくわかる！？デジタルアーカイブの運用

デジタル化する資料の選定

資料のデジタル化作業

ファイルの整理（と変換）

メタデータの作成

システムに搭載・公開

また、DAシステムによっては画像ファイルの変換作業が必要。

ちなみに、島大図では
Pyramidal Tiled TIFF (ptif)
という形式に変換してから登録
している。

デジタルアーカイブとは？

よくわかる！？デジタルアーカイブの運用

デジタル化する資料の選定

資料のデジタル化作業

ファイルの整理（と変換）

メタデータの作成

システムに搭載・公開

画像をDAシステムに搭載・公開するために必要なメタデータを作成する。

主なメタデータの項目としては、資料の書誌情報、画像の縦横サイズ、コマ数、二次利用ライセンス等。

DAシステムによっては、縦横サイズとコマ数は画像登載時に自動で登録される。

画像フォルダの管理台帳にまとめてメタデータも記録すると良いと思います。

デジタルアーカイブとは？

よくわかる！？デジタルアーカイブの運用

デジタル化する資料の選定

資料のデジタル化作業

ファイルの整理（と変換）

メタデータの作成

システムに搭載・公開

画像ファイルをDAシステムにアップロードし、メタデータを登録して公開する。

デジタル化する資料の選定から公開までの流れはコレクション毎に並行して行ったりもする。

デジタルアーカイブとは？

ところで…

(再掲)

デジタル
アーカイブ  資料をデジタル的に保存・
公開し、どこからでも閲覧
できるようにしたもの

デジタルアーカイブの役割

- 資料の複製作成
- 原本の劣化防止
- より多くの人へ資料を提供する

デジタルアーカイブとは？

なので

デジタルアーカイブとは？

■資料1点ごとにPDF化したもの

■画像をページいっぱい貼付け



テキトーにPDFなDA

出雲風土記抄 一



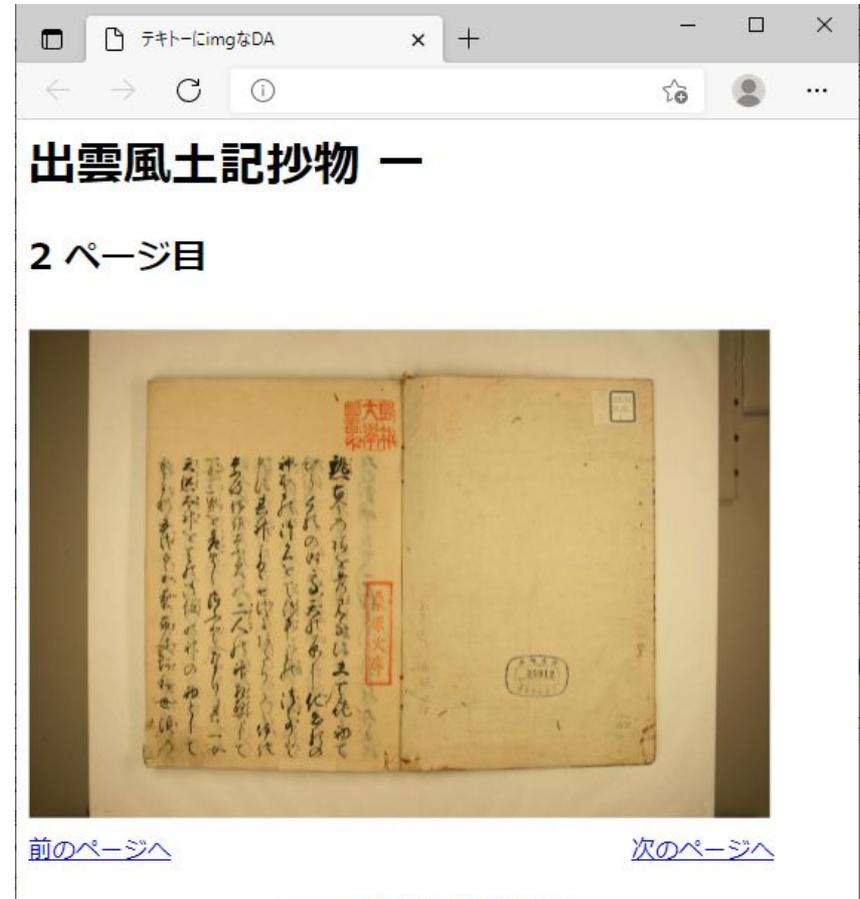
[PDFダウンロード](#)

出雲風土記抄 二



[PDFダウンロード](#)

出雲風土記抄 三



出雲風土記抄物 一

2 ページ目



[前のページへ](#) [次のページへ](#)

↑このように公開しているものも立派なデジタルアーカイブ

デジタルアーカイブとは？

なのですが…

- ブラウザ上で次々とページを繰って読みたい
- 全ページのサムネイルを表示してほしい
- 必要なページだけをすぐにダウンロードしたい
- ブラウザ上で画像を拡大して読みたい
- 拡大した画像はマウスでグリグリ動かして、表示する位置を調整したい

等等

利用者の需要に応じていくことで、こういったことができるシステムが構築されていった。

本日の発表内容

DA

デジタルアーカイブとは？

従来のデジタルアーカイブの問題点

IIIF

みんなが嬉しい！？IIIF対応

そもそも、IIIFとは？

IIIF対応の必須条件

IIIF対応の事例

License

根強く残る問題 ～ライセンス～

島大図ではどうしたか？

従来のデジタルアーカイブの問題点

それぞれのDAシステムが…

独自の仕様で、単体で完結している

バラバラの
インターフェイス

操作方法を一つ一つ
覚える手間

いずれ利用されなくなる恐れ

「サイロ問題」
と呼ばれている

検索から画像の表示まで、
DAとしての機能を一通り備
えているシステムだが、検
索できるのは自システムだ
けであるし、他システムと
の連携は想定していない

システム間連携
が難しい

利用者に発見して
もらえない

従来のデジタルアーカイブの問題点

Q:ところで、「サイロ」ってなんですか？(^q^)

A:コレ→



Marko Milivojevic氏の作品（CC0作品ですが、敬意と感謝を表して）

従来のデジタルアーカイブの問題点

「サイロ」というのは、元々は農場・工場で農産物や原材料を貯蔵しておくための建物。

各種システムが孤立していて、情報（データ）が連携されていない様子が、特定のシステムという「サイロ」に情報（データ）が閉じ込められているようであることから、このような状態にあるシステムをIT業界では「サイロ」と表現している。



いらすとや（みふねたかし）さんの作品

従来のデジタルアーカイブの問題点

この「サイロ問題」を解決できるのが…

従来のデジタルアーカイブの問題点

この「サイロ問題」を解決できるのが…



島大図赤木さんの（二次創作）作品→

本日の発表内容

DA

デジタルアーカイブとは？

従来のデジタルアーカイブの問題点

IIIF

みんなが嬉しい！？IIIF対応

そもそも、IIIFとは？

IIIF対応の必須条件

IIIF対応の事例

License

根強く残る問題 ～ライセンス～

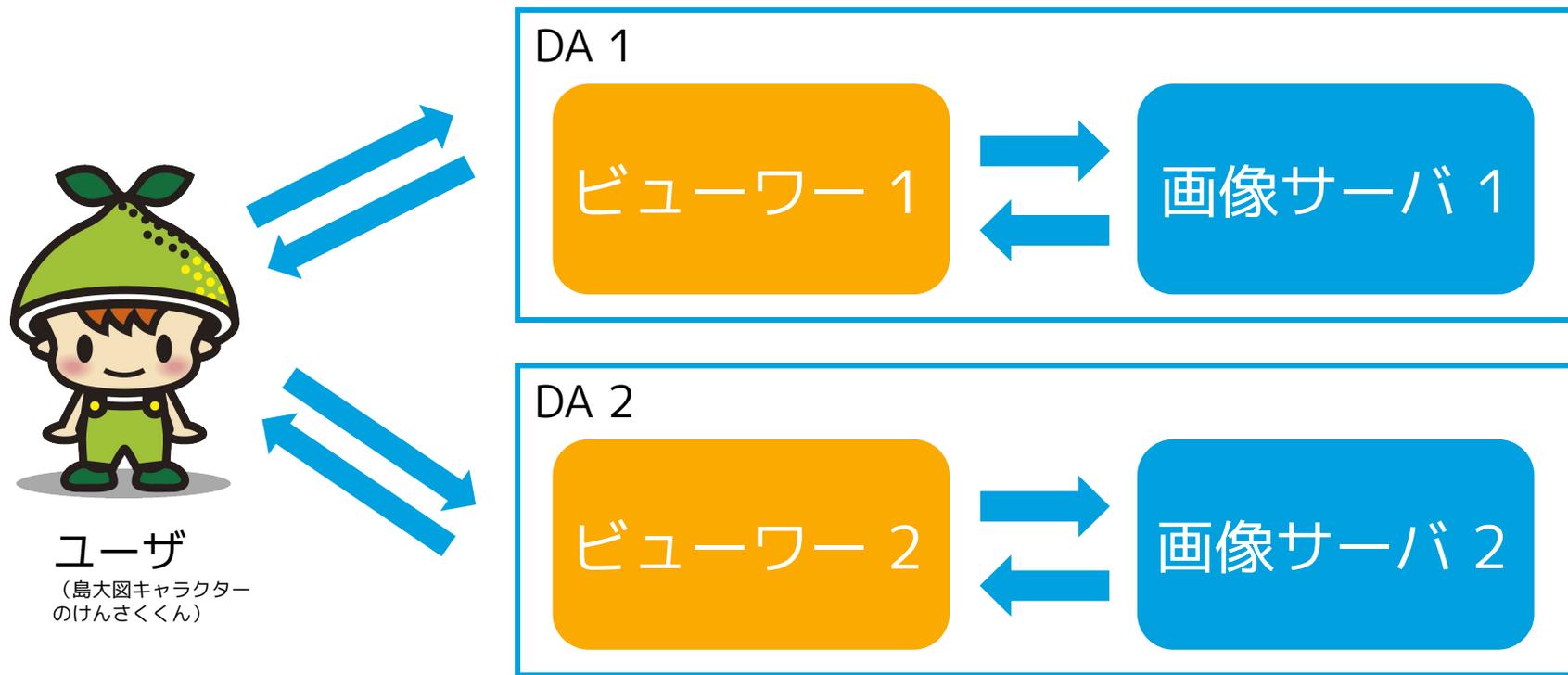
島大図ではどうしたか？

みんなが嬉しい！？IIF対応

ユーザ（利用者）が自由に
ビューワーを選択できる

みんなが嬉しい！？IIF対応

従来のデジタルアーカイブ



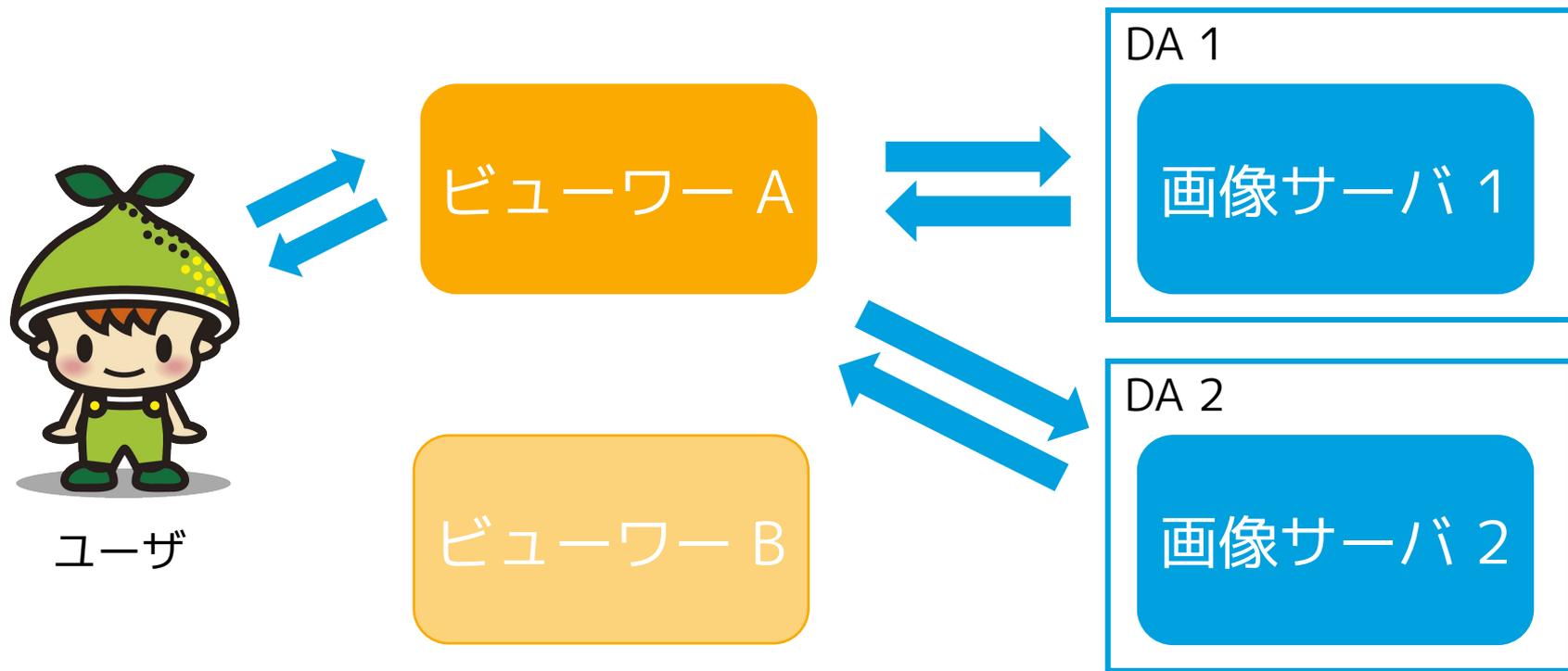
ビューワーを含めたかたちでDAとして成り立っているため、

- ・ DA毎に操作を覚える必要がある
- ・ 画像の比較がしにくい

まさにサイロ状態

みんなが嬉しい！？IIF対応

IIF対応のデジタルアーカイブ



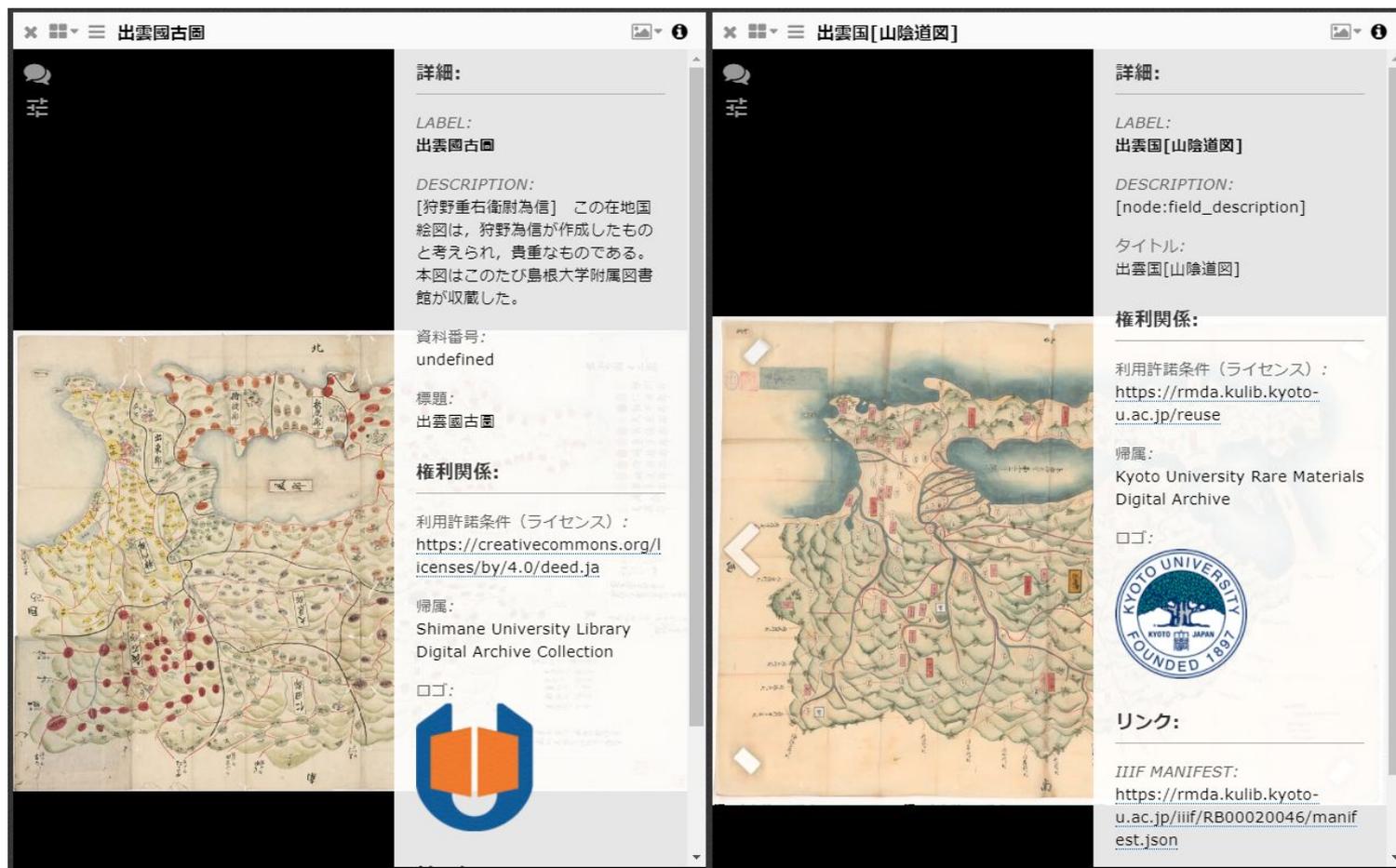
ビューワーと画像サーバを分離して運用できるので、

- ・好きなビューワーを選択できる
- ・一つのビューワーで他機関のDA上の画像と比較できる

連携できている状態
= 脱・サイロ状態

みんなが嬉しい！？IIIF対応

Miradorというビューワーで島根大学附属図書館DA上の『出雲國古圖』と、京都大学附属図書館DA上の『出雲国[山陰道図]』を並べて表示



The image displays two side-by-side screenshots of the Mirador IIIF viewer. The left window shows the '出雲國古圖' (Iwano Province Ancient Map) with a detailed metadata panel. The right window shows the '出雲国[山陰道図]' (Iwano Province [San'in Road Map]) with its own metadata panel. Both panels include fields for LABEL, DESCRIPTION, 資料番号 (Material Number), 権利関係 (Rights), and 利用許諾条件 (License). The license information for both maps is Creative Commons Attribution 4.0 International (CC BY 4.0).

出雲國古圖

詳細:

LABEL:
出雲國古圖

DESCRIPTION:
[狩野重右衛門為信] この在地图
絵図は、狩野為信が作成したもの
と考えられ、貴重なものである。
本図はこのたび島根大学附属図書
館が収蔵した。

資料番号:
undefined

標題:
出雲國古圖

権利関係:

利用許諾条件 (ライセンス):
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

帰属:
Shimane University Library
Digital Archive Collection

ロゴ:


出雲国[山陰道図]

詳細:

LABEL:
出雲国[山陰道図]

DESCRIPTION:
[node:field_description]

タイトル:
出雲国[山陰道図]

権利関係:

利用許諾条件 (ライセンス):
<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/reuse>

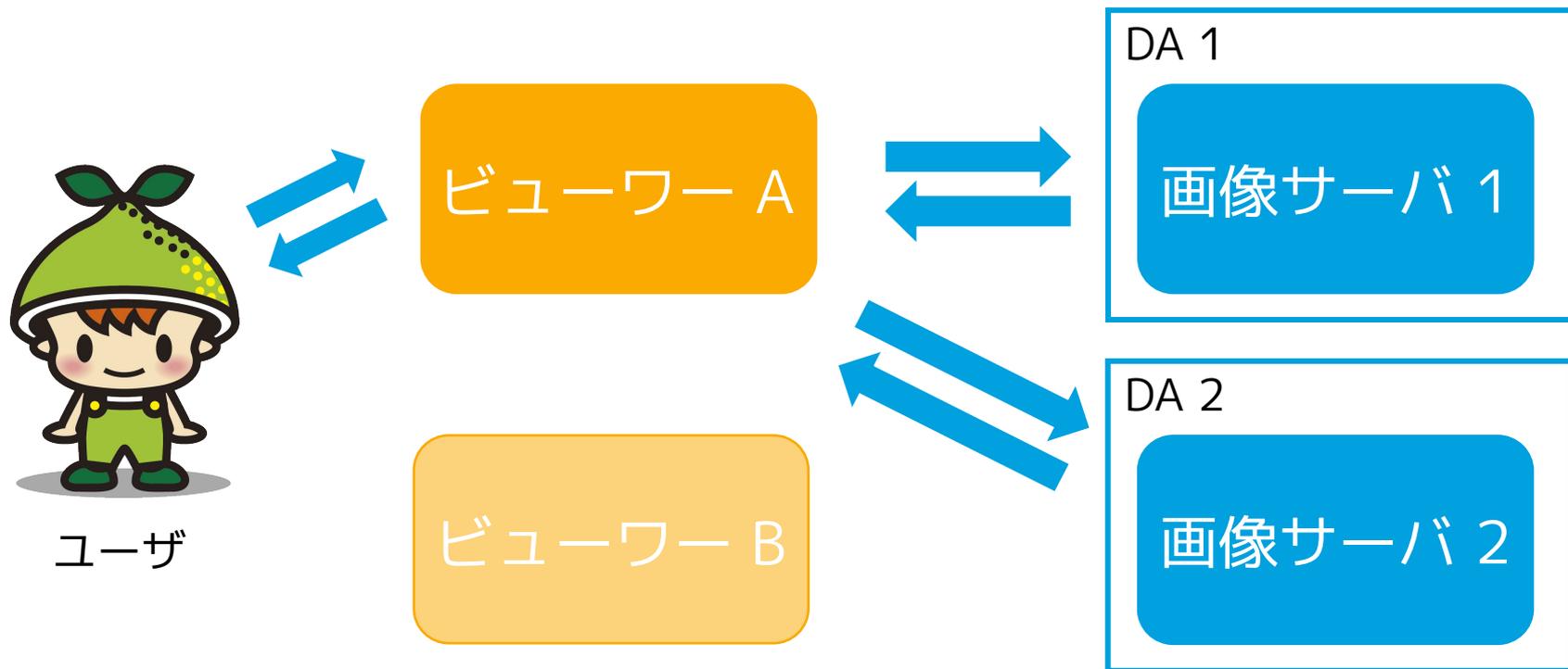
帰属:
Kyoto University Rare Materials
Digital Archive

ロゴ:


リンク:
IIIF MANIFEST:
<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/iiif/RB00020046/manifest.json>

みんなが嬉しい！？IIIF対応

IIIF対応のデジタルアーカイブ

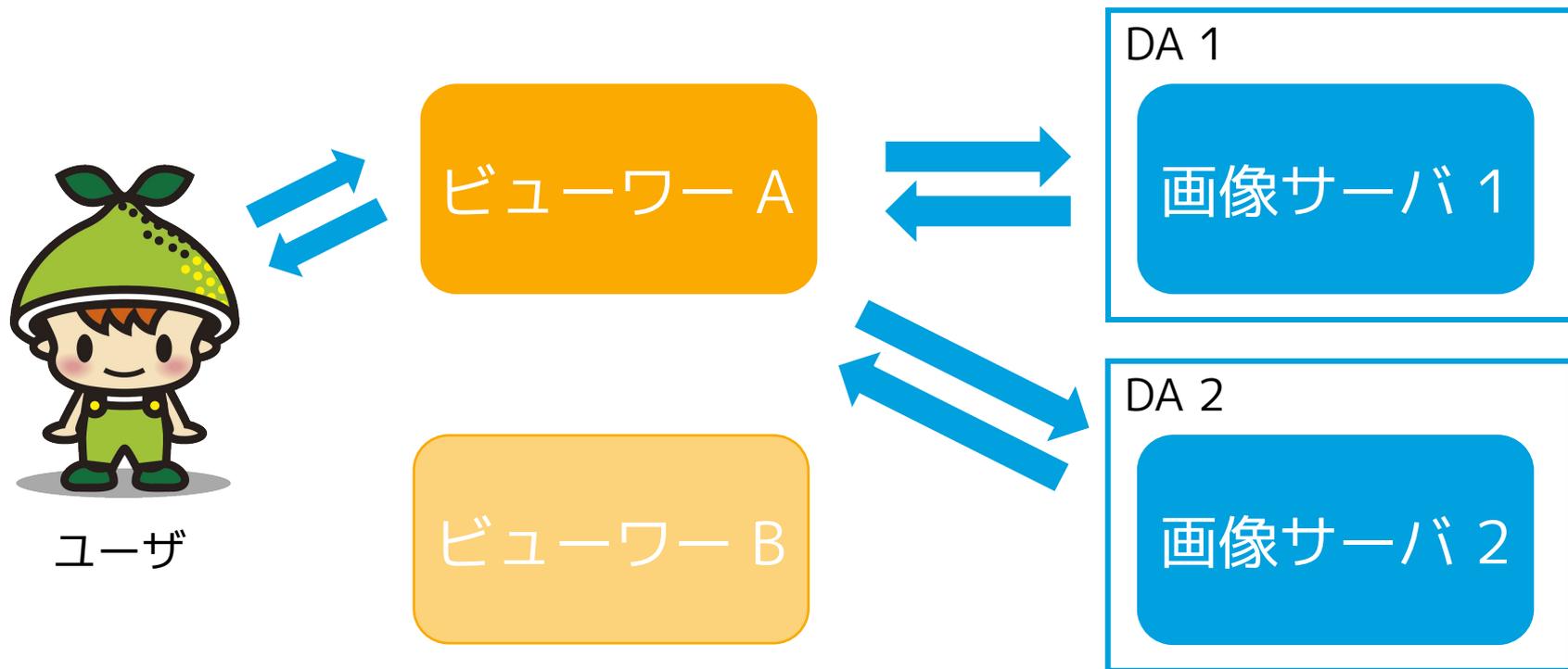


いくつかのビューワーがオープンソースで開発されており、ユーザの要望に応じて盛んに新機能が追加されている。

= IIIF対応しているだけでユーザの要望に応えることが簡単に！

みんなが嬉しい！？IIF対応

IIF対応のデジタルアーカイブ



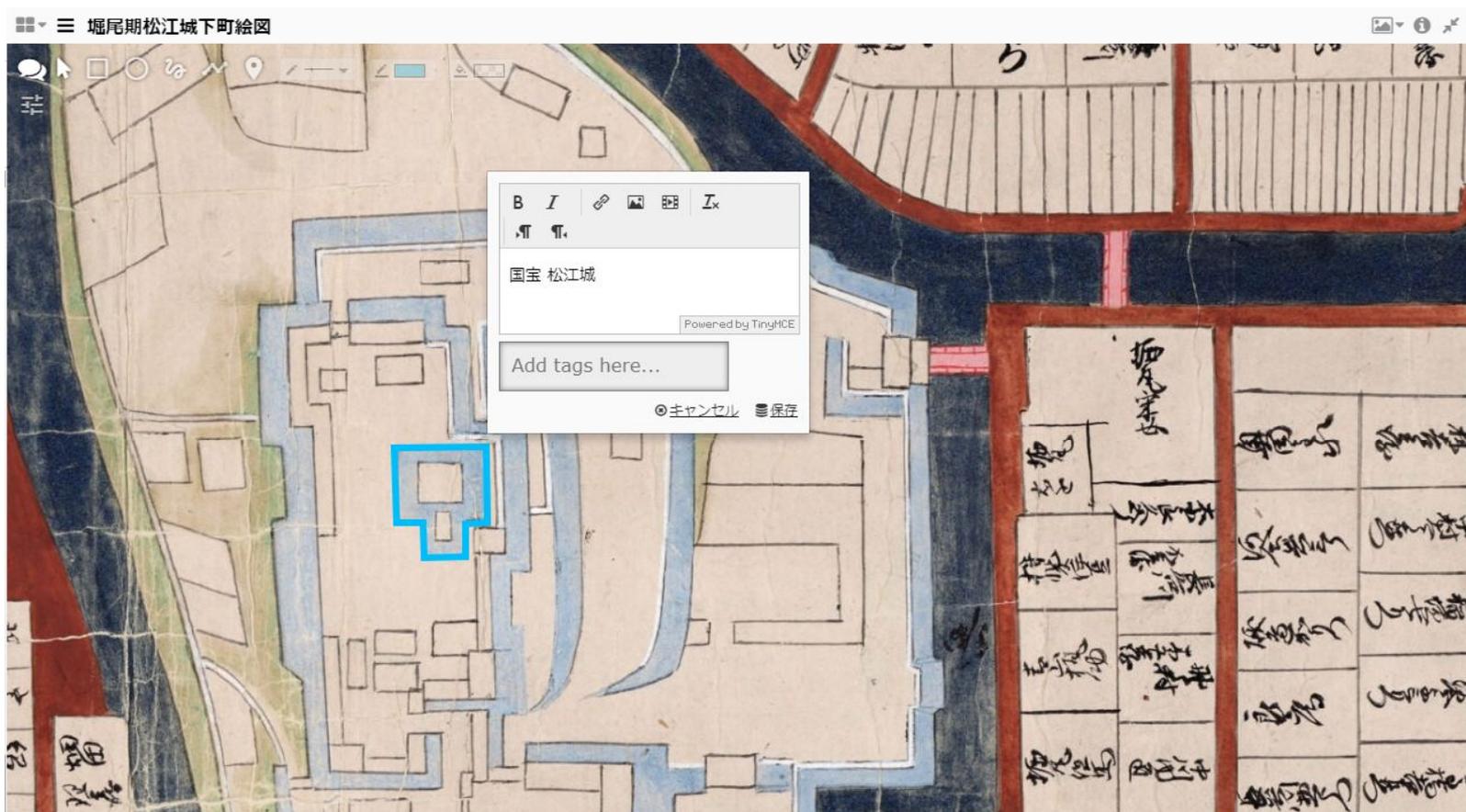
また、DAを運用する側としても、ビューワーの開発をしなくて済むので、安上がりに作ることができる。（画像サーバもオープンソースのものがあるので、お求めやすい費用になる…はず）

みんなが嬉しい！？IIIF対応

Annotation
という注記を付けることができる

みんなが嬉しい！？IIF対応

Miradorというビューワーで実際にAnnotationを付けてみているところ
(島根大学附属図書館所蔵『堀尾期松江城下町絵図』)



みんなが嬉しい！？IIF対応

機械的な処理がしやすくなるので
活用の幅が大きく広がる

この説明は一旦
置いておいて…

本日の発表内容

DA

デジタルアーカイブとは？

従来のデジタルアーカイブの問題点

IIIF

みんなが嬉しい！？IIIF対応

そもそも、IIIFとは？

IIIF対応の必須条件

IIIF対応の事例

License

根強く残る問題 ～ライセンス～

島大図ではどうしたか？

そもそも、IIFとは？

I
International

I
Image

I
Interoperability

F
Framework

国際的な

画像の

相互運用のための

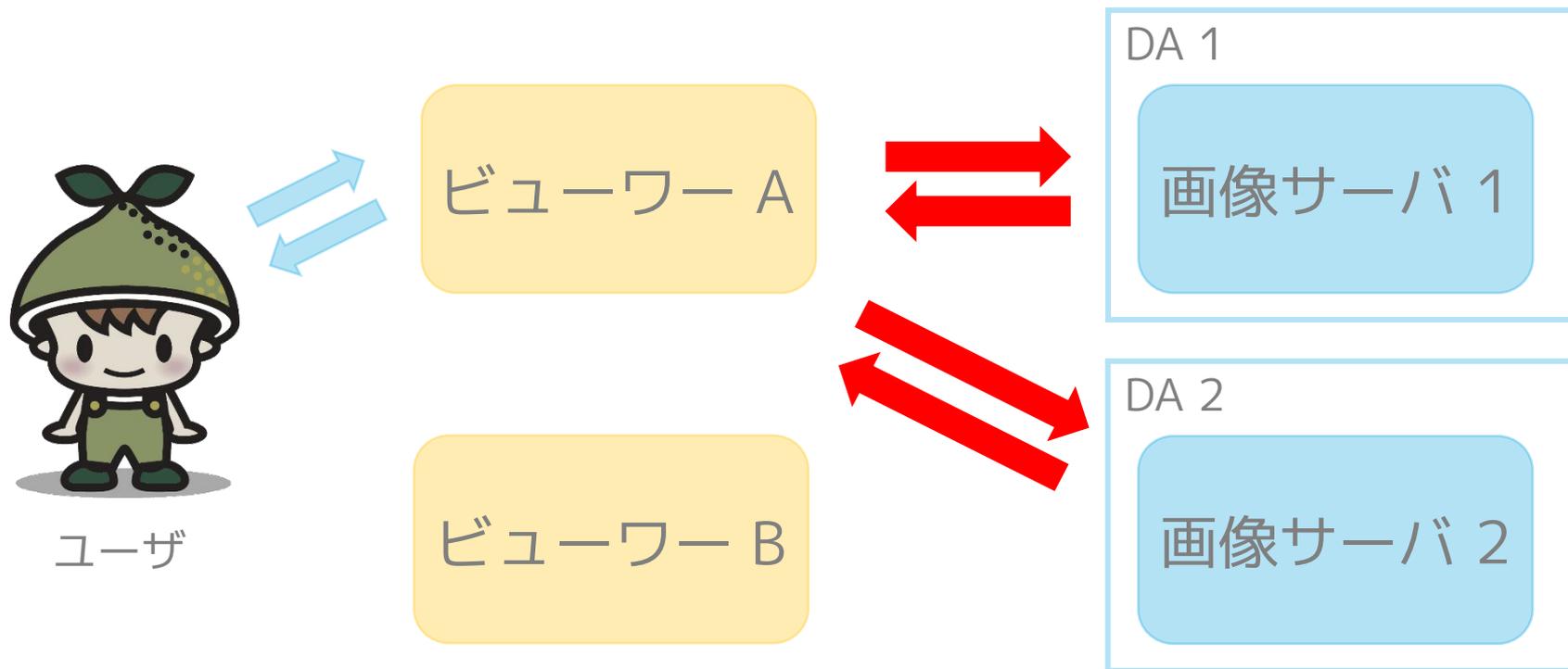
枠組み



「画像を様々なシステム（プログラム）
で相互に扱うことができるようにする
ための取り決め」

そもそも、IIIFとは？

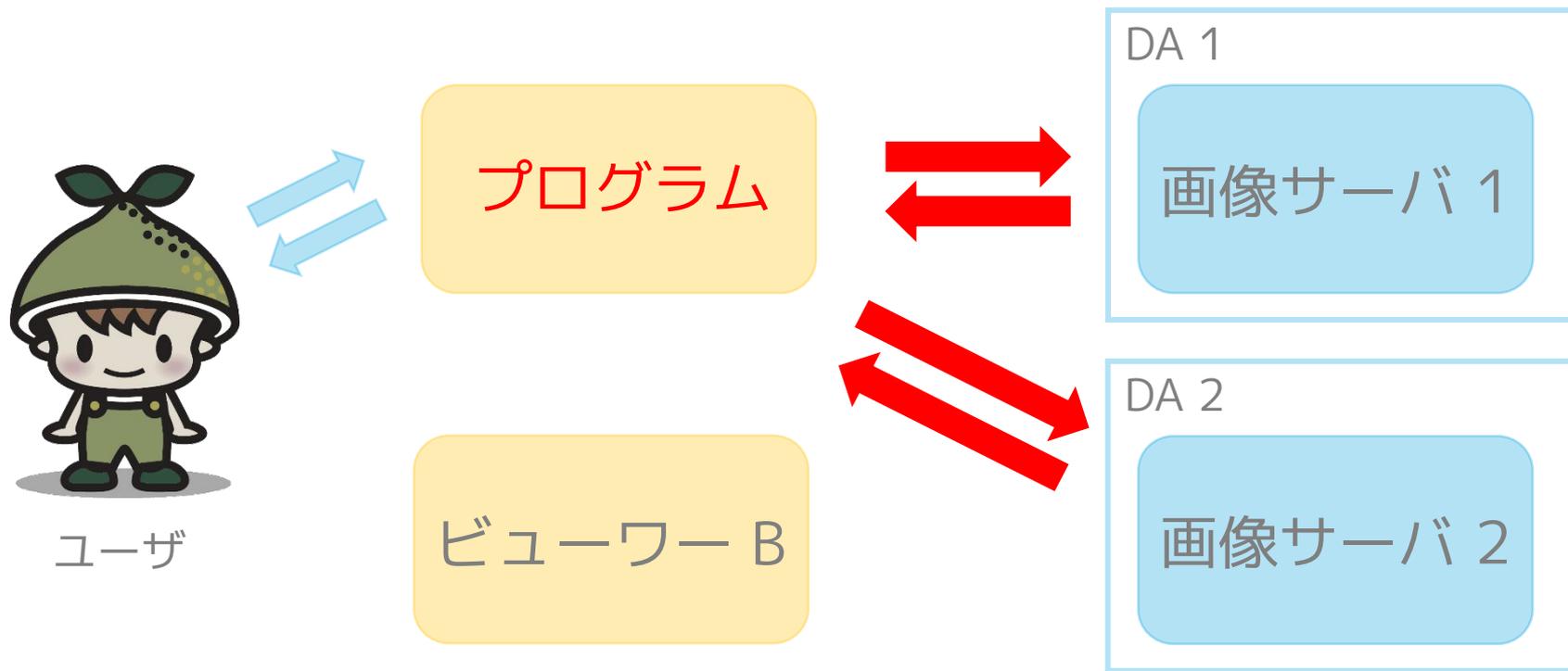
IIIF対応のデジタルアーカイブ



さきほどの図で言えば、この部分のやりとりを標準化して、どのビューワーでも扱えるようにするための取り決めがIIIF

そもそも、IIIFとは？

IIIF対応のデジタルアーカイブ



プログラム ⇔ 画像サーバ間のやりとりでも扱いやすいものになっています
= 機械的な処理がしやすい
(というより、ビューワーがプログラムの一例に過ぎない)

本日の発表内容

DA

デジタルアーカイブとは？

従来のデジタルアーカイブの問題点

IIIF

みんなが嬉しい！？IIIF対応

そもそも、IIIFとは？

IIIF対応の必須条件

IIIF対応の事例

License

根強く残る問題 ～ライセンス～

島大図ではどうしたか？

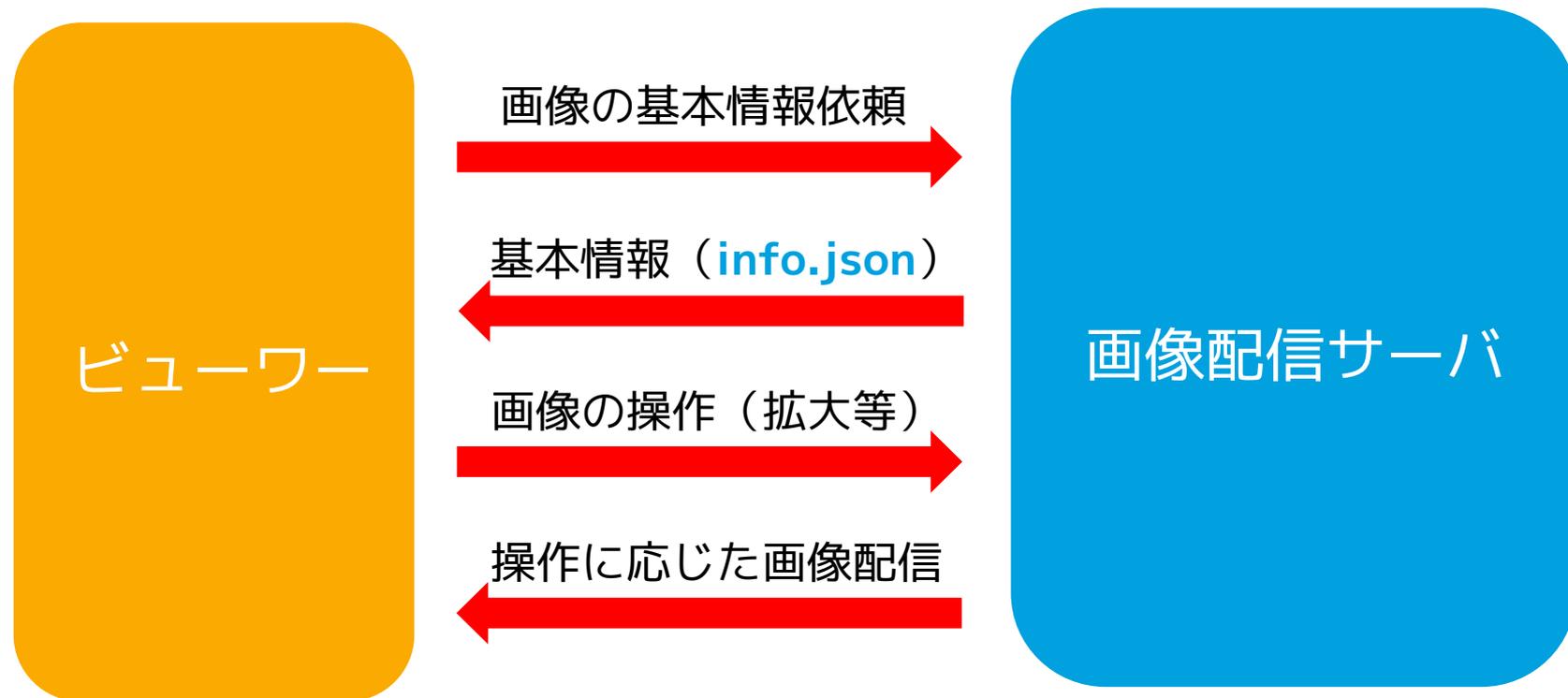
IIIF対応の必須条件

Image API

Presentation API

IIIF対応の必須条件

Image API



ビューワー（プログラム）と画像配信サーバとのやりとりの標準化

IIIF対応の必須条件

Presentation API

- 資料の構造
 - どの画像が何ページ目の画像かの情報
 - 画像の基底URI (Image APIへの橋渡し)
 - 書誌事項
 - タイトル
 - 責任表示
 - 任意に項目を追加可能
 - ライセンス (画像の利用条件)
 - Attribution (著作権者や所有者)
- 

これらの情報を持った**Manifest**というファイルを生成する必要がある

IIIF対応の必須条件

Universal Viewerというビューワーで『出雲風土記抄』を表示したところ

出雲風土記抄

Presentation API

Image API

Image 1 of 47 Go

CONTENTS

1 page

2 page

3 page

4 page

5 page

6 page

7 page

8 page

9 page

10 page

11 page

12 page

13 page

14 page

15 page

MORE INFORMATION

About the item

資料番号

標題

出雲風土記抄

Description

出雲国風土記の本文に、始めて註釈を施したもので全4冊の写本、袋綴じて縦28cm、横19.3cm、第1冊43枚、第2冊39枚、第3冊51枚、第4冊52枚、計185枚。1面9行、1行文字数は第1冊と第4冊が18字、第2冊と第3冊が15字となっている。もと松江桑原家所蔵本であった。本書の著者は、松江藩士岸崎左久次、名は時照、字を照時といった。天和3年の自序と同年の釈宏雄の跋文とがある。本書の本文は、多くの伝写本中最も欠脱の少ない、いわゆる補訂本系のもので、京都上賀茂神社の三手文庫所蔵の万葉緯本と共

Attribution

Shimane University Library Digital Archive Collection

License

<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

Logo

本日の発表内容

DA

デジタルアーカイブとは？

従来のデジタルアーカイブの問題点

IIIF

みんなが嬉しい！？IIIF対応

そもそも、IIIFとは？

IIIF対応の必須条件

IIIF対応の事例

License

根強く残る問題 ～ライセンス～

島大図ではどうしたか？

IIIF対応の事例

島大図デジタルアーカイブの基本的な構成

Image API

- 画像サーバとしてオープンソースの **IIPI Image Server** を利用して自作
- IIPI Image Serverはinfo.jsonも自動で出力してくれるので、これだけでImage API対応が完了する
- ただし、特殊な画像形式を採用することで高速動作しているので、画像ファイルを一括で変換するプログラムを別途作成する必要がある

Presentation API

- [ENU Technologies](#) 構築のサーバ
- Manifestの管理・生成をする機能をもっている
- 資料の検索機能や画像の表示画面（ビューワー埋め込み）も、このENU製サーバが役割を担っている

IIIF対応の事例

島大図デジタルアーカイブの基本的な構成

Image API

- 画像サーバとしてオープンソースのIIPIImage Serverを利用して自作
 - IIPIImage Serverはinfo.jsontextのImage API対応が完了する
 - ただし、特殊な画像形式を扱ったり、画像ファイルを一括で変換するプログラムを別途作成する必要がある
- 画像サーバを含めて、IIIF対応したDAシステム全体を構築することも可能な企業です。

Presentation API

- [ENU Technologies](#)構築のサーバ
- Manifestの管理・生成をする機能をもっている
- 資料の検索機能や画像の表示画面（ビューワー埋め込み）も、このENU製サーバが役割を担っている

IIIF対応の事例

島大図デジタルアーカイブの特徴

アクセス制御機能

搭載しているコンテンツ毎に以下のような制御が可能

- 公開 … インターネットを通じてどこからでもアクセス可能
- 学内限定 … 島根大学内からであればアクセス可能
- 認証 … ID・パスワードによる認証を経てアクセス可能

自館以外が所蔵している資料も搭載

- 九州大学附属図書館
- 野津家
- 隠岐の島町教育委員会

本当は他にもあるのですが、諸事情によりゴニョゴニョ…

IIIF対応の事例

島大図デジタルアーカイブの特徴

アクセス制御機能

搭載しているコンテンツ毎に以下のような制御が可能

- 公開 … インターネットを通じてどこからでもアクセス可能
- 学内限定 … 島根大学内からであればアクセス可能
- 認証 … ID・パスワードによる認証を経てアクセス可能

IIIFの応用的なAPIであるAuthentication APIに対応した認証機能で、（たぶん）日本で初めての実装。このAPIの説明は難儀なので割愛。

参考：[カレントアウェアネス No.346 CA1988](#)

※ Authentication APIはIIIF対応に必須のものではないですよ。念の為

IIIF対応の事例

SAT大正大蔵経DB

日本初のIIIF対応デジタルアーカイブで、Annotation盛り盛り。
「Annotationを付けるとこんな感じで見れますよ」の良い例。

実際の画面は当日投影。

IIIF対応の事例

富士川文庫デジタル連携プロジェクト試行版

京都大学図書館機構・慶應義塾大学メディアセンターのデジタルアーカイブ上にある富士川文庫を、Web上で統合してコレクションにしたもの。2019年2月8日からは、東京大学大学院教育学研究科・教育学部図書室の資料も追加された模様。

Home プロジェクトについて 富士川文庫について 外部リンク・問い合わせ先 English

富士川文庫デジタル連携プロジェクト試行版

京都大学図書館機構と慶應義塾大学メディアセンターによる、富士川文庫のWeb上での統合を目指したプロジェクトです。三大学が分散して所蔵する富士川文庫資料を一室に公開することを通じて日本医学史の研究・発展に寄与するとともに、IIIF (International Interoperability Image Framework) を活用した分散コレクションの仮想統合例を提示します。

試行版公開にあたり、酒井シツ順天堂大学特任教授・名誉教授よりメッセージをいただいております。

2020年8月26日 慶應義塾大学メディアセンターの資料129件が追加されました。
2019年2月8日 東京大学大学院教育学研究科・教育学部図書室の資料172件が追加されました。
2019年4月25日 慶應義塾大学メディアセンターの資料332件が追加されました。

Show 50 entries

Search:

書誌タイトル	書誌タイトル (カナ)	書誌タイトル (ローマ字)	著者	出版年	所蔵	
こあゝ里	[コアツモリ]	[koatsumori]			東京	   
愛育茶譚	アイイク サダン	Aiiku sadan	桑田和著	1857	京都	   
愛育附言	アイイク フゲン	Aiiku fugen			京都	   

URL:

http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/rdl/digital_fujikawa/

IIIF対応の事例

みんなで翻刻

参加者同士でコミュニケーションをとって、くずし字の学習ができるサービス。参加者が作成した翻刻文は、古地震の研究を始めとして有効に活用される、一石二鳥・三鳥な画期的サービス。IIIF対応してからは、IIIF対応の画像を公開すれば、翻刻対象資料として搭載できるようになった模様。

The screenshot shows the Honkoku website interface. At the top, there is a navigation bar with links for Home, Projects, Link Collection, About, and Usage. A search bar is on the right. Below the navigation, the 'Project Overview' section displays five project cards. Each card features a representative image, a title, a brief description, the source institution, and a progress bar indicating the completion status of the transcription work.

Project Title	Description	Source Institution	Progress
日本の仏典を翻刻	SAT大蔵経テキストデータベース研究会による、日本の仏典の翻刻プロジェクト	SAT大蔵経テキストデータベース研究会等	55/96点の翻刻が完了
Code4Lib JAPAN × みんなで翻刻	Code4Lib JAPAN 2020カンファレンスで登録した資料です。	国立国会図書館など	26/37点の翻刻が完了
デジタルアーカイブ福井の資料を翻刻	デジタルアーカイブ福井で公開している地域資料を翻刻するプロジェクトです。	福井県文書館	22/37点の翻刻が完了
疫病関連資料を翻刻！	近世の疫病に関連する資料を翻刻するプロジェクトです。	京都大学、国立歴史民俗博物館、他、各地のデジタルアーカイブ	24/52点の翻刻が完了
東京学芸大学「学びと遊びの歴史」を翻刻！	東京学芸大学が所蔵する近世以降の学びや遊びの資料翻刻プロジェクトです。	東京学芸大学附属図書館	6/10点の翻刻が完了

URL: <https://honkoku.org/> (スクリーンショットのURL: <https://honkoku.org/app/#/projects>)

本日の発表内容

DA

デジタルアーカイブとは？

従来のデジタルアーカイブの問題点

IIIF

みんなが嬉しい！？IIIF対応

そもそも、IIIFとは？

IIIF対応の必須条件

IIIF対応の事例

License

根強く残る問題 ～ライセンス～

島大図ではどうしたか？

根強く残る問題 ～ライセンス～

画像の二次利用ライセンスをどうするか問題

DAシステムが出来た！

画像ファイルも準備出来た！

画像は自由に使ってもらって良いのだけれど、うちの名前も出して欲しいなあ…

さて、公開にあたって
画像の二次利用ライセンスはどうする??

利用者のためにも、ひと目でわかるライセンスを付与したいなあ♪



根強く残る問題 ～ライセンス～

画像の二次利用ライセンスをどうするか問題

せやっ！ Creative Commons licenseや！！



根強く残る問題 ～ライセンス～

画像の二次利用ライセンスをどうするか問題

確かに、Creative Commons license（CCライセンス）なら、認知度が比較的高いライセンスで、ライセンスロゴの表示でひと目でわかるし、かなり良さそう…



島大図のキャラクター みいなちゃん

こういった感じで、「画像の二次利用の際には、所蔵館として自館の名前をクレジット表示する」といった意味合いでCCライセンスが表示されていることが、かつての図書館系のDAではよくありました。

根強く残る問題 ～ライセンス～

画像の二次利用ライセンスをどうするか問題

なのですが…

根強く残る問題 ～ライセンス～

みんな大好き！？ Creative Commons licenseの罫（？）

そもそも、CCライセンスとはどういったものか？

ざっくり言うと…

CCライセンス



作者（著作権者）が二次利用の条件を付与して作品（著作物）を流通させるためのライセンス・テンプレート

CCライセンスの詳細はこちら↓

URL: <https://creativecommons.jp/licenses/>

根強く残る問題 ～ライセンス～

みんな大好き！？ Creative Commons licenseの罫（？）

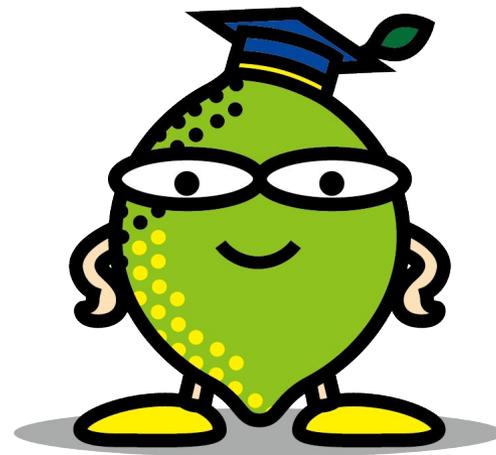
一方で、我々の業界（博物館・図書館）のデジタルアーカイブのコンテンツは主にどういうものか？

- 原物資料は自館が所蔵している
- 原物資料の作者（著作権者）は、自館とは別の誰か
- 画像ファイルは自館が作成したもの

根強く残る問題 ～ライセンス～

みんな大好き！？ Creative Commons licenseの罫（？）

さて、順番に見比べて見
ましょう



島大図のキャラクター ライム博士

根強く残る問題 ～ライセンス～

みんな大好き！？ Creative Commons licenseの罫（？）

CCライセンス



ざっくり言うと…

作者（著作権者）が二次利用の条件を付与して作品（著作物）を流通させるためのライセンス・テンプレート

- 原物資料は自館が所蔵している
- 原物資料の作者（著作権者）は、自館とは別の誰か
- 画像ファイルは自館が作成したもの

自館はあくまで原物資料の所有者であって、作者（著作権者）ではない。

※ 標本作成者 = 自館の場合は、この点は問題なさそう（自館が作者であるので）

根強く残る問題 ～ライセンス～

みんな大好き！？ Creative Commons licenseの罫（？）

CCライセンス



ざっくり言うと…

作者（著作権者）が二次利用の条件を付与して作品（著作物）を流通させるためのライセンス・テンプレート

- 原物資料は自館が所蔵している
- 原物資料の作者（著作権者）は、自館とは別の誰か
- 画像ファイルは自館が作成したもの

自館ではない別の誰かが作成した資料の作者（著作権者）はその誰かであるため、自館に著作権はない。

ただし、館の業務として作成して一定の要件を満たした資料であれば、職務著作として自館が著作権者となるので、その点は良さそう。

根強く残る問題 ～ライセンス～

みんな大好き！？ Creative Commons licenseの罫（？）

CCライセンス



ざっくり言うと…

作者（著作権者）が二次利用の条件を付与して作品（著作物）を流通させるためのライセンス・テンプレート

- 原物資料は自館が所蔵している
- 原物資料の作者（著作権者）は、自館とは別の誰か
- 画像ファイルは自館が作成したもの

ただ、「著作物」として認められるには、「思想又は感情を創作的に表現した作品か」どうか？

⇒ 自然史標本の場合は、標本作成に当たって創意工夫があり創作的であると思われるので、標本作成者を著作権者とみなせそう…？

⇒ ハッキリとは言い切れない（結局ケースバイケース）

根強く残る問題 ～ライセンス～

みんな大好き！？ Creative Commons licenseの罫（？）

CCライセンス



ざっくり言うと…

作者（著作権者）が二次利用の条件を付与して作品（著作物）を流通させるためのライセンス・テンプレート

- 原物資料は自館が所蔵している
- 原物資料の作者（著作権者）は、自館とは別の誰か
- 画像ファイルは自館が作成したもの

「でもほら…画像ファイルについては自館の著作物だから…」（震え声）

⇒ 「著作物」として認められるには、「思想又は感情を創作的に表現した作品か」どうか

⇒ 平面な原物資料を撮影台に置いて撮っただけの画像は創作的？

⇒ 認めてもらうのはかなり難しい…

根強く残る問題 ～ライセンス～

みんな大好き！？ Creative Commons licenseの罫（？）

CCライセンス



ざっくり言うと…

作者（著作権者）が二次利用の条件を付与して作品（著作物）を流通させるためのライセンス・テンプレート

- 原物資料は自館が所蔵している
- 原物資料の作者（著作権者）は、自館とは別の誰か
- 画像ファイルは自館が作成したもの

また、立体物の場合でも、単純な三面図的に撮影したものは、新たな創作的表現がないとして、著作権が認められないことが考えられます。

⇒ なので、原物資料を機械的に撮影して作成した画像ファイルに対しては、基本的には新たな創作的表現が認められず、著作権を主張できるかは微妙だと思った方が良さげです。

根強く残る問題 ～ライセンス～

みんな大好き！？ Creative Commons licenseの罫（？）

CCライセンス



ざっくり言うと…

作者（著作権者）が二次利用の条件を付与して作品（著作物）を流通させるためのライセンス・テンプレート

- 原物資料は自館が所蔵している
- 原物資料の作者（著作権者）は、自館とは別の誰か
- 画像ファイルは自館が作成したもの

そもそも、利用者がCCライセンスが表示されているのを見て、「おっ、二次利用する際には、（作者ではなくて）所蔵館のクレジット表示をすれば良いんだな」とかが伝わるか？

⇒ 伝わりにくいばかりか、作者（著作権者）が別にいる場合はそもそも作者に無断で適用できない。また、保護期間満了の場合やそもそも著作物とみなされない場合は意味をなさない（法的効力がない）

根強く残る問題 ～ライセンス～

みんな大好き！？ Creative Commons licenseの罨（？）

CCライセンス



ざっくり言うと…

作者（著作権者）が二次利用の条件を付与して作品（著作物）を流通させるためのライセンス・テンプレート

- 原物資料は自館が所蔵している
- 原物資料の作者（著作権者）は
- 画像ファイルは自館が作成した

仮に標本自体が著作物とみなされなかったとしても、法的効力がなくなってしまうだけです。し、「二次利用する時には自館の名前を表示してほしい」というお願いは伝わるので、自館で作成した標本の場合は、CCライセンスを当てても（たぶん）問題はないと思います。

そもそも、利用者がCCライセンス二次利用する際には、（作者ではなく）「良いんだな」とかが伝わるか？

⇒ 伝わりにくいばかりか、作者（著作権者）が別にいる場合はそもそも作者に無断で適用できない。また、保護期間満了の場合やそもそも著作物とみなされない場合は意味をなさない（法的効力がない）

根強く残る問題 ～ライセンス～

みんな大好き！？ Creative Commons licenseの罫（？）

なので、

CCライセンスは我々の業界
のデジタルアーカイブに
は、適さないのでは…



※ 適した場合のコンテンツ（著作権保護期間内で誤認が無い利用条件）なら、CCライセンスは機械的にも処理しやすいライセンスなので、IIIFとも相性バッチリのライセンスです。

本日の発表内容

DA

デジタルアーカイブとは？

従来のデジタルアーカイブの問題点

IIIF

みんなが嬉しい！？IIIF対応

そもそも、IIIFとは？

IIIF対応の必須条件

IIIF対応の事例

License

根強く残る問題 ～ライセンス～

島大図ではどうしたか？

島大図ではどうしたか？

ちょっとした伏線回収その1…

何ページも前の再掲

出雲国古図

詳細:

LABEL:
出雲国古図

DESCRIPTION:
[狩野重右衛尉為信] この在地图
絵図は、狩野為信が作成したもの
と考えられ、貴重なものである。
本図はこのたび島根大学附属図書
館が収蔵した。

資料番号:
undefined

標題:
出雲国古図

権利関係:

利用許諾条件 (ライセンス):
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

帰属:
Shimane University Library
Digital Archive Collection

ロゴ:

出雲国[山陰道図]

詳細:

LABEL:
出雲国[山陰道図]

DESCRIPTION:
[node:field_description]

タイトル:
出雲国[山陰道図]

権利関係:

利用許諾条件 (ライセンス):
<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/reuse>

帰属:
Kyoto University Rare Materials
Digital Archive

ロゴ:

リンク:
IIIF MANIFEST:
<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/iiif/RB00020046/manifest.json>

島大図ではどうしたか？

ちょっとした伏線回収その2…

何ページも前の再掲

CONTENTS

出雲風土記抄

Image 1 of 47 Go

1 page

2 page

3 page

4 page

5 page

6 page

7 page

8 page

9 page

10 page

11 page

12 page

13 page

14 page

15 page

Presentation API

Image API

ここも、よく見るとCC BYになってますね

MORE INFORMATION

About the item

資料番号

標題

出雲風土記抄

Description

出雲国風土記の本文に、始めて註釈を施したもので全4冊の写本、袋綴じて縦28cm、横19.3cm、第1冊43枚、第2冊39枚、第3冊51枚、第4冊52枚、計185枚。1面9行、1行文字数は第1冊と第4冊が18字、第2冊と第3冊が15字となっている。もと松江桑原家所蔵本であった。本書の著者は、松江藩士岸崎左久次、名は時照、字を照時といった。天和3年の自序と同年の釈宏雄の跋文とがある。本書の本文は、多くの伝写本中最も欠脱の少ない、いわゆる補訂本系のもので、京都上賀茂神社の三手文庫所蔵の万葉繪本と共

Attribution

Shimane University Library Digital Archive Collection

License

<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

Logo

島大図ではどうしたか？

実は、島大図DAでも以前はCC BYを付与しており、
その実態は…

- 二次利用の際には、所蔵館として「島根大学附属図書館」をクレジット表示すること

を利用者に求めていたものでした。

一応、島大図DAトップページの「利用案内」的なところにこの旨を記載していましたが、特にGoogleとかから直接飛んで来たりした人には、まず伝わらないし、明らかに著作権保護期間が満了している資料なのに、混乱しますよね…。

※ CC BY … 適切なクレジット表示（著作権者の表示）をすれば自由に利用して良いというCCライセンスの一つ

島大図ではどうしたか？

現在の島大図DAでは、オリジナルのライセンスロゴと…

このようなロゴで、原物（と画像）の状態がひと目でわかるようにしている（…つもり）



Shimane University Library ← 所蔵館・所蔵者

Accessible Anywhere ← 公開範囲

No-Copyright ← 著作権の状態

島大図DA
の特徴

所蔵館のロゴ

（余談ですが、2023年度から大学のロゴがこれに変わりました）

この3つの組み合わせによってライセンスが異なるので、ロゴも分けている。

島大図ではどうしたか？

オリジナルのライセンス条文のページを用意し、公開しています。

島根大学附属図書館
デジタルアーカイブ

画像の利用条件



このライセンスが付与されている画像の利用にあたっては、以下の条件が課されています。公序良俗に反する画像の利用は、下記の記述に関わらず、いかなる理由であっても禁止します。

1. 画像の閲覧：手続き不要で自由に閲覧可
2. 画像の複製：手続き不要で自由に複製可
3. 画像の二次利用：所蔵館を表示することで自由に二次利用可

ライセンスの概要を上部に配置し、細かいことは下部に記載。

1. 画像の閲覧について

1. このライセンスが付与されている画像は、特別な手続きを経ることなく、無償で自由に閲覧できます。

URL: https://da.lib.shimane-u.ac.jp/static/license/SUL-Open-NoC_license.html

島大図ではどうしたか？

島大図DAの画像の二次利用ライセンス改定については、
[カレントアウェアネス-E No.384 E2221](#)
でも簡単に解説していますので気が向いたら読んでみてください。
い。

島大図ではどうしたか？

また、CCライセンス以外に普及しているライセンス・テンプレートとしては、

Rights Statements

というものもあります。

島大図DAでは、ちょうど良いライセンスがなかったため、採用を見送りましたが、これからDAのライセンスを検討される場合は参考にしてみてください。

参考URL：

<https://rightsstatements.org/en/>

<https://rightsstatements.org/page/1.0/?language=en>

島大図ではどうしたか？

ちょっとした伏線回収その3…

SAT大正大蔵経DB（再掲）

実際の画面は当日投影。

このように、何かしらの条件を課すライセンスは、いざ二次利用しようと思った時に判断に迷ったりして、実は利用する側にとってはちょっと使いにくかったりする…。

データベース全体がCC BY-SAで公開されているため、配布・公開用スライドからはこのスクショを削除。

引用の範囲内なので、載せて他のライセンスで公開しても問題はないと思うが、念のために掲載せず。

※ CC BY-SAの著作物を二次利用したものは同じくCC BY-SAで公開することを強制される。

島大図ではどうしたか？

ちょっとした伏線回収その4…

従来のデジタルアーカイブの問題点

Q:ところで、「サイロ」ってなんですか？

A:コレ→



Marko Milivojevic氏の作品（CC0作品ですが、敬意と感謝を表して）

一方で、CC0で公開されていると、二次利用する側としては、アレコレと考えて配慮する必要がないので、すごく使いやすい。

CC0にしても、クレジット表示することに不都合がない限りは、こうしてクレジット表示してもらえると（思う）

島大図ではどうしたか？

Presentation API

(再掲)

- 資料の構造
 - どの画像が何ページ目の画像か
 - 画像の基底URI (Image A)
- 書誌事項
 - タイトル
 - 責任表示
 - 任意に項目を追加可能
- ライセンス (画像の利用条件)
- Attribution (著作権者や所有者)

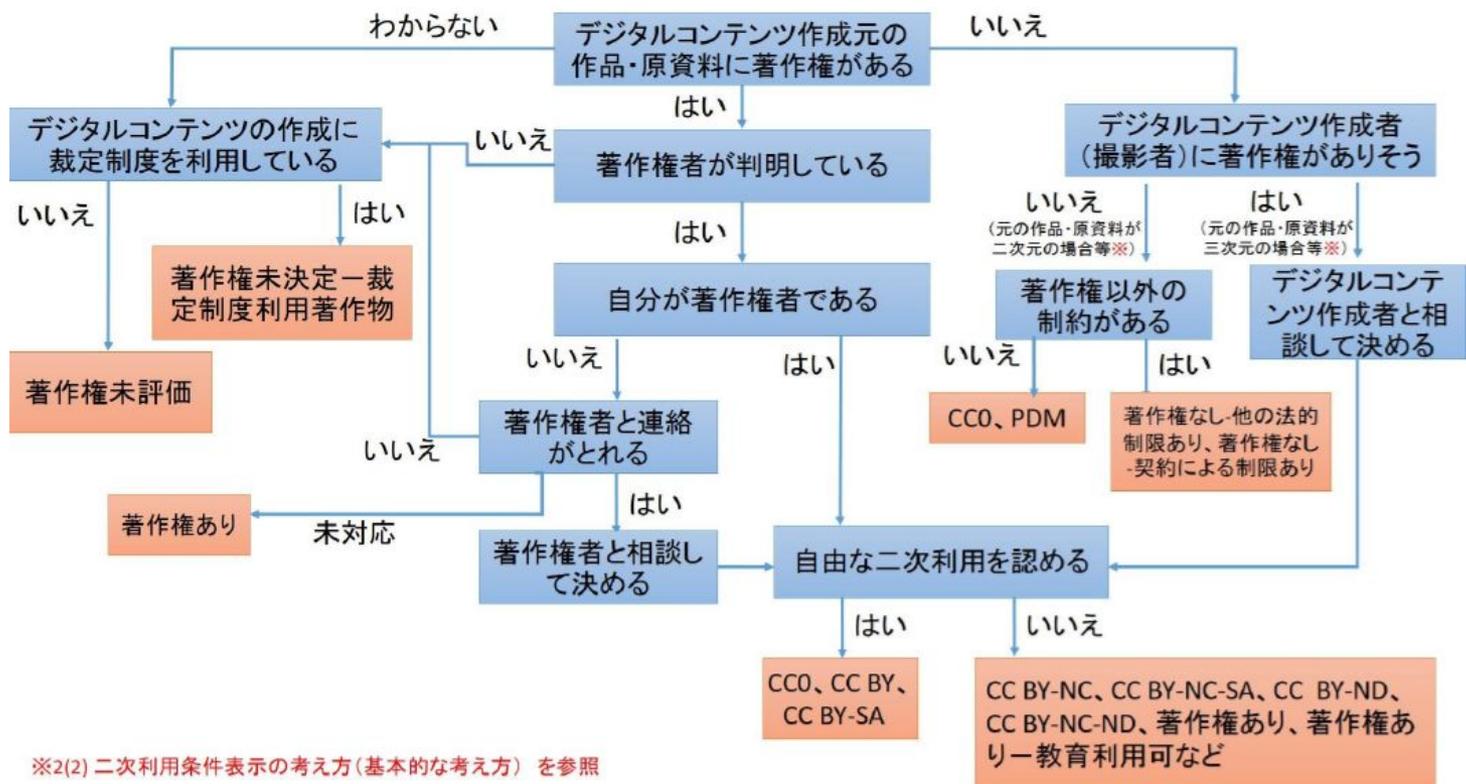
そもそも、IIIFでは所有者としてのクレジットをここで表現できるようになっているので、画像のライセンスについては大人しく、著作権者としての権利を放棄するCC0や、パブリックドメインマーク (PDM) でやるのが理想だと思います。(個人的には島大図DAもそうしたい…)

これらの情報を持ったManifestというファイルを生成する必要がある

島大図ではどうしたか？

もしくは、このような便利なフローチャートも

(参考ツール：二次利用条件表示の検討に当たってのフローチャート)



島大図ではどうしたか？

ところで…

画像のライセンスだけでなく、画像のメタデータについてもライセンスを考慮する必要があります。

島大図DAでは、メタデータについては、何の制限もなく自由に流通させることで、コンテンツの発見に繋がって欲しいため、**著作者としての権利を放棄したCC0**を適用しています。

参考：「利用案内」 (https://da.lib.shimane-u.ac.jp/content/ja/page/how_to_use)
の「3. メタデータの利用条件について」

そもそも、メタデータは著作物と見なしにくいものですが、利用者にわかりやすく、再利用しやすくするためにもCC0であることを明記しています。

まとめ

- **DAの運用は画像ファイルの管理が大事**
- **IIIF対応しておいて損はない**
- **CCライセンス使う時は気をつけて**